

大阪・関西万博への出展企業がやってきた 田代中生徒 最先端の技術を体感!

4月13日に開幕する「大阪・関西万博」に出展する製品に触れる出前授業が田代中で行われました。授業は、内閣官房国際博覧会推進本部事務局が全国約200校で実施し、県内では初の開催。生徒たちは、持っているだけで体が自然と前後左右に引っ張られるような感覚になる「ふしぎな石ころ」を体験し、最先端技術に驚いていました。



田代中3年の野口華恋さんは「不思議な感覚を味わうことができた。万博は遠いけれど行ってみたいとなった」と話しました。

3名の未来づくり専門員 活動報告会開催 これまでの取組とこれからの未来を語る

3月6日、3名の未来づくり専門員による活動報告会が役場で行われました。町内外から集まった約40名を前に、3名の専門員はこれまでの取組や今後の展望などを発表。集まった方々から大きな拍手が送られました。3月末で退任する小阪廉さんは「今後も錦江町に残り、商品開発や自分の研究を続けていきたい」と意気込みを語りました。



同じく3月末で退任する藤崎花鈴さんは「錦江町を離れますが、大好きな錦江町の良さをたくさんの人に伝えたい」と話しました。

錦江中の平國弘明校長は「これからの地域、日本を支えるのは君たち。町のためにできることを探し、支えて」と卒業生を激励。



町内2中学校の卒業生が学び舎に別れ 感謝の想いを胸に次のステージへ

町内2中学校の卒業式が3月12日に行われ錦江中48名、田代中14名の卒業生が仲間とともに3年間過ごした思い出の学び舎を巣立ちました。コロナ禍を経て大きく変化した環境に対応しながら、仲間ともに立派に成長した生徒たち。恩師や保護者などに見守られ、新たなステージへの第一歩を踏み出しました。

京町いきいきサロンの馬場みよ子さんは「これが1回に終わらず、続けることが出来るようにしたい」と意気込みを語りました。



言語の壁を超え異文化交流を 日本文化体験会を開催

3月10日、錦江町に住む5名の外国人と京町いきいきサロンの方々が、日本文化を通じた交流を行いました。5名は自分たちで着物を選び、三鐘流洋妙会の落司妙子先生らが着付けを行いました。その後、サロンの方々とおはら節やお茶を楽しんだミャンマー出身のテッピーモンさんは「着物を着たいと思っていたので、嬉しい。家族に写真を送りたい」と笑顔で話してくれました。

競技終了後には地元特産品が当たるお楽しみ抽選会の実施や飲食ブースも設置され、競技以外にも盛り上がりを見せました。



Kinko Town Pickup Photonews

第19回花瀬公園まつり駅伝大会 春の気配近づく花瀬で競う

3月16日に第19回花瀬公園まつり駅伝大会が開催され、小学生から一般の部まで計36チーム約300人が町内外から参加しました。選手たちは花瀬公園周辺1.4kmの周回コースを力走。春の気配が近づく花瀬に、沿道からの温かな声援が響きました。

◇大会結果 優勝チーム◇
小学生部門 Kmtk Jr. 小学Cチーム
中学生部門 Osaki R.Cチーム
一般部門 県下一周肝属チーム

ノウフク連携非常食「緊急救命72hおかゆ」 災害時の食料備蓄として購入

本町は、災害時の食料備蓄として「緊急救命72hおかゆ」を240食購入しました。この商品の生産には障害のある方々が携っており、袋詰め作業は「大隅半島ノウフクコンソーシアム」の加盟事業所である「就労継続支援B型事業所ココハウス」の方々がを行っています。今後は、錦江町産のお米を用いたおかゆも生産される予定です。



ノウフク連携とは、障害のある方が農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。

会場ではジョイサウンズによる演奏も行われ、音楽とワインと食事を一度に楽しめる贅沢なマルシェとなりました。



2025年新ワインと地域のグルメ楽しむ 浜田農園ワイナリーマルシェ

3月2日、浜田農園でワイナリーマルシェが開催され、多くの住民が今年で2回目となる花瀬ワインを飲み比べたり、地元の美味しいグルメを楽しんだりしました。代表の濱田隆介さんは「地元の方々に貢献したいという思いからマルシェを開催した。ワインを気軽に楽しんでいただければ」と話しました。

